

SNSでの悪口や仲間外れについて

～インターネットトラブル事例集より～



LINEをはじめとするSNS上の文字のやり取りは、お互いの表情や声の調子、身振り手振りなどが見えないコミュニケーションで、自分が伝えたいことが違う意味で受け取られてしまうことも起こりがちです。皆さんが友達とのトラブルに発展することなく、仲良く使い続けるために気をつけたいことを一緒に考えてみましょう。

うっかり「？」をつけ忘れたために



Cさんは仲良しグループのトーク画面で、メッセージの最後に「？」をつけ忘れたまま送信してしまったことに気づかず、すぐにお風呂に入ってしまった。

一方的にグループから外されてしまった



お風呂上りにスマホを見ると、「ひどい！」などのメッセージが。誤解を解こうとしても、反応なし。Cさん以外のメンバーは別グループを作り、Cさんを外したのです。

★解説

○誤解を与えない

「？」と「！」では意味が真逆になることがある文字の会話もあります。記号やスタンプ、(^^)のような顔文字を活用して、自分の気持ちが正しく伝わるように工夫しながらやり取りすることが大切です。

○「ムカツ!」、「イラッ!」としたら

どんな会話でも嫌な気持ちになることはあります。そんなときは感情をすぐにぶつけず、一呼吸して考えましょう。文字だとケンカになりそうなら、電話で話してみるのも良い方法ではないでしょうか。

○グループトークに起因するいじめ

スマホやSNSの普及で新たな問題となったのが、いわゆる「SNSいじめ」です。メンバー以外が読むことのできないグループトーク、誰宛かを一切書かない悪口ステメ（ステータスメッセージ：アプリのプロフィール欄に書ける一言メッセージのこと）、いずれも人目につきに大きく発見が遅れがちです。

気になった画面をスクリーンショット等に残して先生や保護者に相談することが大切です。

<参考> ・総務省「インターネットトラブル事例集（2022年版）」

https://www.soumu.go.jp/main_content/000707803.pdf